

朝一、ゼクトMR G5 スカーレットでスタート!!

釣研インストラクター 野間辰美

- ① 朝一、G5のウキをセレクトして、ジントナナシでスタートします。理由としては、あまり風も強くなく、クロも浮きぎみだったので、セレクトします。
- ② 風が強くなると、G5のジントナをサルカンの下、約20cm～40cmぐらいの所に1個打って、ウキをシブシブ状態にして、ウキを海面より下にして、極力、風の抵抗を受けないようにします。
- ③ 食いが悪くなると、ウキ止めを上にならずして、スルスルにして、食い込ませます。このときはアワセを入れずに、道糸をほんの少し、張り気味にして、竿の穂先にアタリが来るまで待ったほうが、確実ですし、魚が食べられないです。
- ④ 仕掛けを投入して、アタリが速くるときは、タナを浅くし、逆に、時間がかかるときは、タナを深くするだけでなく、いろいろ試します。
- ⑤ まずは、少しタナを深くしてみます。約20～30cm。

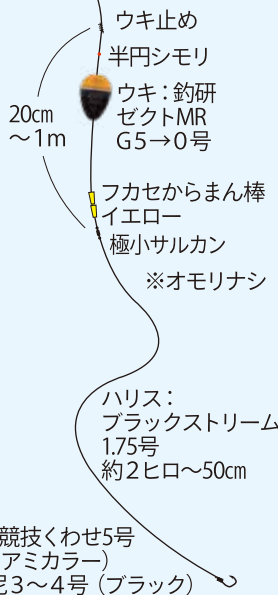


- ⑥ ハリをきらってるかもしれないので、色を変えてみます。それでもダメなら、ハリを小さくしてみます。このとき、ツケエサを必ず小さく、きれいに、ハリがかくれるようにつけます。
- ⑦ クロが食い続けていたのに、食わなくなるときは、やはり警戒していることが多いので、少し時間を空けるか、マキエサだけ、少量ずつ入れて、魚の動きを確認するか? いや、釣りがしたいときは、マキエサを先打ち(1杯だけ)して、ほんの少しタイミングを遅らせて仕掛けを投入すると、食ってくることもあります。
- ⑧ クロのフカセ釣りでは、タナは深くしても4ヒコ前後までだと思ってます。さらに、秋磯は、1ヒコ～2ヒコぐらいで食ってくることが多いです。深く入れすぎると、ほぼ他魚です。まれに、タナが浅いときがありますが、そのようなときは、マキエサにクロが反応していないときなので、海中をよく観察して、魚の動き(すべての魚)を確認してみてください。

《実釣・仕掛け作り》
まず、足元の見やすい所にマキエサを数杯入れ、潮の流れ、エサ盗りの有無、クロが確認できるかなどを、素早くチェックして、仕掛けを作りますが、その前に、今日の潮は、大潮前の、のぼりの中潮で、満

竿：スーパープレシード1.25号 5.3m
リール：2500LBD
道糸：サンラインブラックストリーム
マークX 1.75号

当日飯島・里みのかげ2番の仕掛け例



特集

クロ釣りマヤバイ(最)

(株)釣研
NEW MODELウキ。



ゼクトMR

MR:ミドルレンジ 最も狙うことの多い20mラインに合わせて設計。浮力・強度のバランスの取れたモデルです。

潮が朝の6時すぎ、干潮が昼の12時30分ぐらい(浦内湾・上飯島時間/鹿児島港+40分)で、今が満潮。つづいたものの6の割合で、より遠投がしつかりできるように、それと、エサ盗り対策と、クロへのアピールのために原形を混ぜ込みます。

秋磯は、特に、しつかり遠投ができて、エサ盗りをかわせるようにしないと、釣りにならないこともあります。そして、配合エサのV9とV10は、半袋ずつ使いますが、V9は集魚とまとまり、そして、海中での拡散と、フカセ釣りの王道の配合エサです。V10は、白い煙幕で、マキエサの先打ちで、釣り人の目印になるので、絶対に遠投必至の秋磯には必需品になります。

潮の特徴として、大潮前の潮は、あまり湾の奥には入って来ないことが多く、沖の潮にゆつくり引かれる潮が多いような気がします。はたして今回は、どうなるか? 今のところは、ゆつくりわずかに下げ潮のわかりやすい潮です。

潮の特徴として、大潮前の潮は、あまり湾の奥には入って来ないことが多く、沖の潮にゆつくり引かれる潮が多いような気がします。はたして今回は、どうなるか? 今のところは、ゆつくりわずかに下げ潮のわかりやすい潮です。

が当たってはねていて、いい潮です。海中は、エサ盗りは居ますが、クロも居ます。どちらかと言えば、イスズミが多く確認できます。

それは早速、仕掛け作りですが、今見た状況を頭に入れ、さらに当日の天気と風の強弱で、竿、道糸、ウキなどを選びます。ウキ止めの位置と、ハリスの号数、長さ、そしてハリ選びは、海中の状況で、どんな変えていきます。仕掛けは、図を参考にしてください。

《飯島・里みのかげ2番》

実釣の前に、蝶菜丸さんの渡船基地がある串木野旧港に、久しぶりに、夜中の1時に到着。出船が3時なのに、大勢の釣り人が、ワクワク、ドヤドヤ。久しぶりに見る光景

《マキエサ》
今回は、釣りをする時間が、約5時間ほどなので、マキエサは、普段より少なめで、オキアミ(生) 3kgを2角。アミエビは、1角を2角(ジャンボ1角分)と、配合エサにマルキューのグレパワーV9とV10を1袋ずつ用意し、これを2回に分けて作ります。

まず、アミエビは、いねいに細かくつぶし、おいと粘りを出させます。オキアミは、4対6で、原形4、

少し釣り時間が短くなりますが、ノープロブレム(問題ナシ)。

船は、串木野港より飯島の里まで、約1時間30分ぐらい、快適に仮眠が取れて最高です。まずは、沖磯から釣り客を降ろし、私たちは、地磯周りを降ろし終えた最後に「野間君」と呼ばれ、やはり『みのかげ2番』。波静かな、湾の奥に位置した離れ磯です。私の大好きな磯です。ちなみに、回収のときは、逆に地磯から回収が始まり、沖磯に行きますので、私たちが最初に回収されます。

に、この時を待ち望んでいた感じが、ヒシヒシと伝わって来ます。

今の時期の磯釣りのターゲットは、やはりイシダイ(秋石)、そして大型魚狙いのスジアラと本アラがメインとなり、クロは11月ぐらいから釣り客が増えだしてくると思います(もちろん、この号を見たら倍増です。ヨ!)

クロ釣り師の皆さんお元気ですか? 暑い夏が終り、ようやく寒くなりだすと、磯に「クロ釣りに行つてみつか?」となりますが、私は、一足先に今シーズン最初のクロ釣りに行つてきました。



今日もガンバりますヨ!!

ジ(本気?)で高(?)ツス!

ゼクトMRとLRの実釣取材。



ゼクトLR

LR:ロングレンジ 30mラインを超える遠投エリアに対応。重量のあるボディでもハードな使用に耐える塗装強化を行っています。



配合エサはマルキューのグレパワーV9とV10。



オキアミは原形4、つぶしたもの6の割合で、しつかり混ぜ込みます。